

【運動分科会】第5学年 体育科 学習指導案

令和5年2月16日(木)
調布市立若葉小学校
第5学年4組34名

1. 領域名 ボール運動(ネット型)(全6時間)

2. 単元名 ハンドテニス

3. 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
ボール運動ネット型(ハンドテニス)の行い方を理解するとともに、個人やチームによる攻撃と守備によって簡易化されたゲームをすることができるようにする。	ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた練習や作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①ハンドテニスの行い方について、言ったり書いたりしている。 ②自分のコートにきたボールを相手コートに打ち返すことができる。 ③自分のコートにきたボールを打ち返しやすい位置に動くことができる。	①誰もが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。 ②自己やチームの特徴に応じた練習や作戦を選んでいる。 ③得点をたくさん重ねるために考えたことを他者に伝えている。	①ゲームに積極的に取り組もうとしている。 ②ルールを守り、誰とでも助け合って運動しようとしている。 ③ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ④仲間の考えや取組を認めようとしている。 ⑤場や用具の安全に気を配っている。

5. 研究主題に迫るための具体的な手だて

①【「かかわる」ための手だて】

○練習計画・実行表の活用

本單元では、チームの課題に対する練習を計画し、進行する時間を設ける。課題は、タスクゲームやメインゲームを通して自分たちで見付ける。そして、その課題を解決していくために、どのような練習をすればよいかを、タスクゲームを参考にチームで考えていく。その練習が効果的であったかどうかを振り返る。さらに必要に応じて新たな課題とそれを解決するための練習を考え、児童の主体性と多様性を広げていきたい。

②【「はい、できた」のための手だて】

ゲームの工夫

ボールの工夫	ソフトテニスボールではなく、屋内用のミニテニスボールを使用する。
ルールの工夫	ネットから1 mのところまではアウトゾーンとし、児童がボールを力強く打つことを意識できるルールとした。

6. 本時の学習（4/6）




①本時の目標

自己やチームの特徴に応じた練習や作戦を選ぶことができるようにする。

②展開

	学習内容・活動	○指導上の留意点 ☆評価										
導入	1 整列・あいさつ 2 本時の学習の確認	○児童が見通しをもって活動に参加できるよう、めあてや流れを確認する。										
	チームに必要な練習を行い、試合にいかそう											
展開	3 準備運動・ボール操作の運動 「happiness」 ボール運動 Ver	○けがの防止につなげるためゲームでよく使う部分を中心に準備運動を行う。										
	4 ボール慣れの運動（記録を超えよう！try ラリー） はい、できた！	○よい動きを意識できるよう、広めていきたいよい動きに対して、声を掛ける。										
	○体育館の壁に向かってボールを打ち、チームごとに何回ラリーができるかを数え、全チームの記録を足す。											
	5 場の準備	○安全に行えるようにするため、役割を明確にする。										
	6 メインゲーム 1											
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゲーム1</td> <td>赤 対 白</td> <td>水 対 紫</td> <td>緑 対 橙</td> <td>黄 対 青</td> </tr> </table>			1	2	3	4	ゲーム1	赤 対 白	水 対 紫	緑 対 橙	黄 対 青
		1	2	3	4							
	ゲーム1	赤 対 白	水 対 紫	緑 対 橙	黄 対 青							
	ゲームのルール ①2人対2人（チームは4～5人。ローテーション） ②時間制（1ゲーム5分） ③コート内の2人は、交互に打つ。 ④相手コートネット先1mの線よりも奥に打つ。 ⑤サーブは下打ち。											
	わかる											
7 チーム練習話合い ↓ チーム練習	○話合いの際、前時での課題に対する練習ができるように、声を掛ける。 ○次のゲームに向け対策を考え、試合と試合の合間に、チームの課題に対して効果的な練習ができたグループの取組を全体で共有する。											
かかわる												
8 メインゲーム 2	☆チームの課題に合った練習方法を選んだり、練習をしたりしている。 【思・判・表】											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゲーム2</td> <td>白 対 水</td> <td>赤 対 紫</td> <td>緑 対 青</td> <td>黄 対 橙</td> </tr> </table>			1	2	3	4	ゲーム2	白 対 水	赤 対 紫	緑 対 青	黄 対 橙	
	1	2	3	4								
ゲーム2	白 対 水	赤 対 紫	緑 対 青	黄 対 橙								
9 メインゲーム 3	○チームで練習したことを意識してゲームに参加できるよう、声を掛ける。											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゲーム3</td> <td>赤 対 水</td> <td>白 対 紫</td> <td>緑 対 黄</td> <td>青 対 橙</td> </tr> </table>			1	2	3	4	ゲーム3	赤 対 水	白 対 紫	緑 対 黄	青 対 橙	
	1	2	3	4								
ゲーム3	赤 対 水	白 対 紫	緑 対 黄	青 対 橙								
10 用具の片付け												
まとめ	11 整理運動	○色々な言葉掛けが出てくるよう、これまでに出ていない言葉などを振り返るようにする。										
	12 振り返りはい、できた！ 個人の学習カードへの記入 ↓ 全体で共有											
	13 整列・あいさつ											

7. チーム練習計画表・進行表

 <p>力強く</p>				
 <p>狙って</p>				
 <p>動いて</p>				

ハンドテニス運動学習カード

名前()

★今日の結果

第1試合	第2試合	第3試合
対	対	対

★今日の学習を振り返ろう ◎：よくできた ○：できた △：もう少し

①チームで励まし合い、楽しむことができたか。	◎	○	△
②チームや個人の課題を意識し、解決に向かうことができたか。	◎	○	△
③力強くボールを打つことができたか。	◎	○	△

チームや自分の良かったところ 等

次の時間に頑張りたいこと！（課題にしたいこと）

★今日の結果

第1試合	第2試合	第3試合
対	対	対

★今日の学習を振り返ろう ◎：よくできた ○：できた △：もう少し

①チームで励まし合い、楽しむことができたか。	◎	○	△
②チームや個人の課題を意識し、解決に向かうことができたか。	◎	○	△
③力強くボールを打つことができたか。	◎	○	△

チームや自分の良かったところ 等

次の時間に頑張りたいこと！（課題にしたいこと）
